

最優秀賞 川の自然を守る

北杜市立須玉中学校

一年 ナカ 中 ダ 田 ア 安 ミ 美

「わあ、きれい。」

小さい頃、お祭りの帰りに通った川でのことです。夜なのに、黄色い光が点々と動いていることに驚き、身を乗り出して見ていると、「あれは、ホタルだよ。お父さんが小さい頃は、須玉川にもたくさんいたんだ。つかまえて家の中で放すと、とつてもきれいだったんだ。今ではすっかりいなくなってしまうたけれど……。」

父はなつかしように教えてくれました。父の言ったとおり、そこには、何匹ものホタルが飛んでいて、それまでホタルを見たことがなかった私の目は、くぎ付けになりました。

私の住んでいる地域にある須玉川は、残念ながらこの川のように、ホタルはいません。だから、私も見たことがありませんでした。こんな美しいものがあることへの驚きとともに、どうして須玉川にはホタルがいらないだろうと疑問に思いました。父に聞くと、

「それは、川が汚れてしまったからだよ。ホタルは、きれいな水があるところにしかいないんだよ。」

と、話してくれました。そういえば、須玉川には、水生生物も少ないということを思い出しました。これも、水質汚染や川の環境汚染が原因なのかもしれないと、思いました。

私は、小学校三年生のとき、「須玉川探検隊」という授業で、須玉川の水生生物について調べたことがあります。そのときも、二時間くらい川の中を探しましたが、カゲロウやヤゴなどの小さな虫が、少し見つかっただけで、魚や大きな水生生物は、全然見つからず、がっかりしたことを覚えています。

また、須玉川には、河原に捨てられたごみも多く、生活排水などによる環境汚染のため、川が汚れています。そのうえ、ダムがあるため、水生生物は、自由に行き来することができません。そのため、水生生物も住みにくく、環境にもよくないという状態です。このような状態が続くと、生態系のバランスもくずれてしまうおそれがあります。

では、これ以上、生態系のバランスをくずさないようにするには、どうしたらよいのでしょうか。それには、川をきれいにすることが重要なのではないかと思うようになりました。

豊かな水をたたえた川。美しく澄んだ川。自然豊かだと言われるこの地域に、ほんとうの美しさを戻すため、私たちにできることを、積極的にしなければなりません。河原に捨てられているごみを拾う。それ以前に、ごみを捨てない。川に汚れた生活排水を流さない。洗剤や油をひかえたり、米のとき汁は、決して流さない。小さくだけけれど、一人一人が気をつけて、それをみんなが実行すれば、須玉川は、もつときれいになり、水生生物もたくさん住めるようになると思います。

ホタルはきれいな川にしか住めません。ホタルが住めるくらいに、きれいな須玉川を復活させるのは、私たちの責任だと思えます。だからこそ、できることを積極的に実行していきたいと思えます。